

都内、本県出身者「応援の集い」

ステージ楽しみ交流

首都圏在住の本県出身者でつくるNPO法人秋田ふるさと応援団のチャリティーイベント「第10回スポーツ・文化・災害支援 秋田応援の集い」が3日、東京都千代田区のスクワール麹町で開かれた。約150人が参加し、多彩なステージ発表を楽しみながら交流を深めた。

ステージでは民謡やジャズ、ギター演奏のほか、西馬音内盆踊りも披露された。本県ゆかりの著名人から寄せられたサイン色紙のオークションも開かれ、多彩なステージ発表が披露された。

懇親会に先立ち、鹿角市の関厚市長が「鹿角の魅力と将来」と題して講演した。

応援の集いは、本県のスポーツ・文化活動を応援しようと毎年開催。オークションなどの収益金の一部を寄付する

多彩なステージ発表が披露された秋田応援の集い



予定で、7月に県内を襲った記録的大雨の被害を受け災害支援にも充てる。

(伊藤正孝)